

## 会 議 録

会議の名称	令和5年度 第3回坂戸市立図書館協議会
開催日時	令和6年1月31日（水） 午後3時30分 開会 午後4時30分 閉会
開催場所	坂戸市立中央図書館 2階 視聴覚室
議長（委員長・会長）の氏名	委員長 石橋 妙子
出席者（委員）の氏名・出席者数	寺山 楓（代理：濱野 奈穂子） 石橋 妙子 高山 かつ子 鴨 由美 貝瀬 由己子 志賀 康子 高橋 好次郎 関口 千登世 <span style="float: right;">8名</span>
欠席者（委員）の氏名・欠席者数	田中 誠一
事務局職員の職・氏名	館長 勝俣 敦 課長補佐 植木 昌美 主任 久保 彰子 <span style="float: right;">3名</span>
会 議 次 第	1 開会 2 委員長挨拶 3 報告事項 （1）令和5年度第3四半期利用状況について （2）令和5年度第3四半期実施事業報告について （3）令和5年度第4四半期実施予定事業について 4 その他 5 閉会
配布資料	<b>【事前配布】</b> ・令和5年度第3回坂戸市立図書館協議会次第 ・令和5年度第3回坂戸市立図書館協議会資料 ・令和5年度第3回坂戸市立図書館協議会資料の概要  <b>【当日配付】</b> ・坂戸市立図書館協議会委員名簿 ・各種事業チラシ（はたこうしろう氏講演会、教養講座、絵本のよみきかせボランティア養成講座） ・城西大学水田記念図書館報「Book Mark」vol.168 他

# 会 議 録

	議 事 の 経 過
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 出席者 8 名。図書館協議会運営規則第 4 条第 1 項の規定により過半数に達しているため、会議の成立を報告する。
委員長	2 挨拶
委員長	3 報告事項 (1) 令和 5 年度第 3 四半期利用状況について
事務局	資料 6 ページ (5) 電子図書館 令和 5 年 7 月 1 日～令和 5 年 9 月 30 日の報告期間を 10 月 1 日～12 月 31 日へ訂正願いたい。 事務局説明
委員長	意見、質問を求める。
委員	電子図書館を利用登録されている年齢層はわかるのか。
事務局	坂戸の場合は、新しく利用券登録時に、一人でも多くの方に利用いただくため、電子図書館の ID を付与しており、現状では把握していない。利用者数の伸び悩みもあるので、毎年、小中学生一人一人にチラシを配布し勧誘を進めている。その際、申し込み数は少し伸びるが、期間が過ぎてしまうと横ばい状態なので、努力はしているが悩ましい伸び率になっている。ID は付与しているものの、その方々が利用されているかまでの統計は取っていないので、次回、わかるようには確認しておきたいと思う。
委員	子どもたちが GIGA スクールのパソコン、タブレットなどに慣れてくるので、勿論本を借りて欲しいが、時代なのでこちらも利用してもらった方がよいかと思う。
事務局	タブレットという話もあったが、そこに辿り着くそれぞれの課題があると思われる。坂戸の場合だが、家庭環境、パソコン環境、学校、図書館等双方向に課題があるようだが、それが解決されるにはまだ時間が掛かりそうである。
委員	5 ページ (3) の統計の中にリクエスト状況があるが、右端の購入の所の数字が、選書されて購入している数値と違っていいか。これは例えば、1 年間通しての予算割が大体アベレージ毎月いくら、と決まっているの

	<p>か、若しくは夏休み前は多くするとか、年間の何かメリハリとかがあるのか参考に伺いたい。</p>
事務局	<p>年間の予算が決まっている中で、ムラがないよう各月々平均するような購入の仕方をしている。今、お話のあった5ページ右側の欄のリクエスト状況の中の相對、これは近隣、県内の図書館で坂戸で所蔵していないものの貸し借りをしている、例えば、12月だと相對の数253件というご理解をいただければというところで、尚且つ、購入したのが105件、その他11件がリクエストしたけどキャンセルとなったものである。</p>
委員	<p>選書は、基本図書館司書を持っている方だけではなく、職員全員がするのか。</p>
事務局	<p>候補を挙げてもらった中で、最終的な購入の判断は司書が担っている。</p>
委員長	<p>(2) 令和5年度第3四半期実施事業報告について</p>
事務局	<p>事務局説明</p>
委員長	<p>意見、質問を求める。</p>
委員	<p>インターシップの高校生的人数が2名だが、もっと沢山いそうなイメージであり、少ないのではないかと思った。図書館側の都合か、希望する高校生が少ないのかどちらなのかと思った。</p>
事務局	<p>学校の都合。正直なところ、ここ何年か清風高校からである。あと、坂戸ろう学園も来ているが、その他の学校から受入れの相談はない。大体、学校の都合もあるかと思うが、受入れの依頼は2名～3名である。</p>
委員	<p>職員の出前講座では、その場所に貸出し出来るように、本を持って行くのか。</p>
事務局	<p>児童センターで希望があり、図書館で本を選定して持って行き、保護者と小さなお子さんに本の紹介と読み聞かせを行い、その後貸出しも行った。</p>
委員	<p>借りる方は多いのか。</p>
事務局	<p>借りる方はいる。出前講座の翌週に、図書館に来て利用券登録をした親子がいた。</p>

委員	大人の方の高齢者向けの本の選び方は難しいのではないかと。
事務局	今回は、高齢者向けには脳トレ等を選んで紹介した。
委員	文化会館のロビーに坂戸市文化かるたの展示をされたのは、第3四半期の実施であったか。
事務局	今回の資料から漏れてしまったが、11月17日から19日まで、市民生活課が事務局で文化団体連合会が中心となり芸術文化祭が開催された。お父さんお母さん方が、ご自身が小学生の頃このかるたを使って大会をやっていたことを教える方もいたり、懐かしく思われて買っていきたい、という方もいた。今回は、懐かしく思われている方が多くいた印象を受けている。
委員	<p>親世代の方が、懐かしんでくれたようでとても嬉しい気持ちである。坂戸の文化かるたに30年近く関わって来て、子ども会のかるた大会で子ども会がなくなってからは児童センターで、自分が当初関わった子どもたちが30歳代から40歳代になったと思われる。もっと皆さんに知ってもらい発展したらいいのに、と願いつつ、長くやっていたのに力が足りなかったのでは、と感じるので、是非、継続してかるたの普及をしていただけたら、と思う。とてもいいかるたで、近隣の市や町でも、あっても使っていない、というかるたがあるようだが、坂戸は継続して同じかるたを当初から使用している。もっと広く皆さんに知っていただきたい。芸術文化祭当日に行き、かるた巡りの職員がかるたに詠まれた所に行ってくれた、という報告があったので、自分が関わった時代も調べる学習コンクールにかるた巡り46か所を巡った、という子どももいた。それを大人がやったりしていて、自分の認識と違ったところもあると感じた。</p> <p>かるたの販売は、社会教育課と図書館だけか。図書館には常設展示もある。</p>
事務局	従来どおり2か所である。数は少ないが、令和4年度よりも令和5年度の方がかるたを求める方が多い印象はある。
委員長	大人が買うのか。
事務局	大人が買いに来て、子どもに買い与える家庭もあるようである。
委員長	子ども会があるところはかるた大会をやっているのか。
委員	既存の所は、少なくなってしまった。

委員長	この間、浅羽野ではまだ子ども会があるので、かるた会をやっていた。
委員	12月に坂戸のかるたを使って3月の県大会に出場のための予選会をやっていた。鶴ヶ島市にもあるが、坂戸市のものを参考として20数年前に作って、数年前に20年経ったから新しいものに入れ替えたりしたが、
委員	近隣では坂戸のかるたが一番歴史があるように思う。日高市や越生にもあるが使っていないようである。学童でもやることがある。坂戸のかるたと彩の国郷土かるた（県のかるた）の両方がある。
委員	片柳小学校の昔遊びの中で、かるたをやっていたが、10分より短かったと思うので、子どもはもっとやりたい感じであった。
委員	競技かるたではない、遊びのかるたを児童センターでやっている。子ども会の備品は全て児童センターに渡し、坂戸児童センターが各児童センターに分配し活用いただいている。児童センターで学んだ子どもたちが、学校でやったりしているので、そのように子どもから大人に受け継がれていったらいい。
委員長	今、カードゲームがすごく流行っている。そんな風に再度流行ったらいいと思う。
委員	数年前のちはやぶるとか、競技かるたが少し盛り上がったが、親御さんが懐かしんでくれて、地名がでると全部やるような上毛かるたみたいになるといい。坂戸は新住民の方も多いので郷土愛もなかなか育たないかも知れない。
委員	どこの地域でも街歩きが流行っていて、自分の職場でも街歩きで、文化資源だけではなく、その場で言い伝えられていたものを歩く時に、あのようなかるたがあったりすると、辿って行くものと写真だけではない何か関連性ができ、面白いと思う。
委員	山崎委員がお元気だった時は、高齢者がやったらいよね、ということでもやってくれたことがあった。市子連の備品を市役所に借りに来られて、高齢者に何度もやってくれた。これも脳トレかも知れない。
委員長	時々はかるたの展示をお願いしたい。
事務局	計画を立てていきたい。
委員長	図書館まつりの時に、かるた大会をやっても面白いかも知れない。

委員	かるたをやっていて、途中から平三郎の双六に移行してしまい、それからかるたを忘れられてしまった感じがする。
委員長	(3) 令和5年度第4四半期実施予定事業について
事務局	事務局説明
委員長	意見、質問を求める。
委員長	渋沢栄一さんの講座は、新一万円札になるということで、沢山集まるのではないか。
事務局	広報2月号でお知らせ、2月8日から申込みを受付ける。
委員長	ボランティア養成講座をやっていると思うが、イベントに呼ばれて行くグループは、おはなし山さんですか。おはなし会というところで、関わっているグループは。
事務局	ボランティアについては、ストーリーテリングを主とする、おはなし山さんと、図書館の児童サービスボランティアに登録の方、高齢者サービスボランティアに登録されている方が、例えば、高齢者施設やつどいの広場に出向いてお話をしていただいている。
委員	チラシに電話で受付とあるが、例えば、WEBからの申込みについては。
事務局	現在は行っていない。
委員	よく二次元バーコード、QRコード等を利用して申込みできるといいのでは。
事務局	そのような方法も相談しているが、今のところ坂戸の場合は電話で行っている状況である。
委員	日曜日とか若いお母さんたちは、WEBからの申込みの方が入りやすいのではないか。ただ、来場者の参加の把握等、チケット制にするのか等大変かと思う。
事務局	検討して参りたい。
委員	ボランティアの方は、お住いの地域の方なのか。

事務局	<p>多くの方は坂戸市にお住いの方のようだ。ただ、友人がいる関係で他市町の方もいたり、ここに住んでいたが引っ越しされた方々が繋がっているのではないかな。</p>
委員長	<p>その他について 委員の皆さんから何かありますか。</p>
委員	<p>なし</p>
委員長	<p>事務局は何かありますか。</p>
事務局	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 はたこうしろうさんの講演や教養講座等を開催する。</li> <li>2 令和6年度からの事業になるが、新たにブックスタート事業を開始する。既に3か月児健診の際に、本の紹介や読み聞かせを行っていたが、読み聞かせに加え絵本を無償でプレゼントする。4月1日生まれ以降の赤ちゃんが対象で、7月下旬の3か月児健診が第一回目となる。市民健康センターとの連絡調整を図りながら実施していく予定で準備を進めている。</li> <li>3 対面朗読サービスについて、利用者の申出により休止していたが、10月から再開している。</li> <li>4 坂戸にある8公民館について、4月1日から交流センター化される。大きく変わる点は、利用目的が広がり、営利を目的とした団体も利用可能となる。</li> <li>5 調べるコンクールの関係だが、先般、全国大会の結果をいただいた。坂戸市から推薦した南小学校5年生の児童の作品が、奨励賞をいただいた。口頭であるが報告させていただく。</li> <li>6 本協議会委員の任期が6月末日までになるので、引き続きよろしくをお願いしたい。</li> </ol>
委員	<p>◆ 城西大学からの提供資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城西大学水田記念図書館報「Book Mark」vol.168</li> <li>・現代数学と切り絵アート展</li> <li>・英雄尚巴志 はじまりの統一王</li> <li>・城西考古Ⅱ</li> </ul>
副委員長	<p>これから図書館の重要性は増すのではないかな。昨年の読書週間月間のデータから感じたところだが、1つ目は、2001年生（現在23～24歳）の方が、1か月間に本を1冊も読まない人が6割を超えたというニュースがあった。</p> <p>2つ目は、全国の26%の市町村で本屋が1軒も無くなった。廃業してしまったとのこと。</p>

もう一つは、小中学生で読書の好きな子程成績が良い。この3点を考えた時に、先程、広域の貸出が出てきたが、坂戸はまだ本屋が何軒かあるからいいが、小さい町や村になると殆ど本屋さんがない、と言ったところがこの近所にもあるので、これから図書館の果たす役割は大きくなるのではないかと感じる。協議会委員も図書館で行っていることをPRし、図書館はとても大事な施設だということを色々なところで話していくのがいいのではないかと感じた。

今後、来年度に向けて気になる点が2つ程ある。1つ目は、本が値上がりしているのではないか。紙や輸送費の高騰により、どんな安い本でも千円以上するものが増えてしまった。公立図書館の予算が急に増える訳ではないので、どんな本を選んでいったらいいのか、本当に必要なものは何か、もう一度改めて考え直す必要が出て来るのではないか。

2つ目は、4年くらい前に障害者関係の法律が変わって、読書バリアフリー法というものが出来た。そこで、障害のある方たちに、図書館に来てもらって本を読んでいただきたい。坂戸の図書館では既に朗読サービス等を行っている訳で、単に建物の段差がなくなったとうことではなく、障害のある方もない方も本に親しめるような図書館づくりが必要ではないか。

10年位前だったか、全国のバリアフリーの基になった図書館が川越の霞ヶ関小学校の隣にあった図書館で、全国版の冊子に載った。直ぐに視察に行ったが、その後は経年劣化のようになって来ていて、一生懸命にやっていたところだったのに残念であった。これから後、法律ができたから云々ではなく、どなたでも図書館に来て本が読めるような、不自由な方に対しては、常時では難しいと思うので、期間を区切ってサービスを提供できるようなことをそろそろ考えていく必要があるのではないか。昨年の読書月間のデータから感じたところである。いい図書館にするために、意見を出し合って考えていったらよいのではないかと思う。

委員長

他になければ、議事は終了とする。

副委員長

副委員長挨拶

事務局

6 閉会

※第4回の協議会は、3月下旬の開催を予定